

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	がんばれ合宿応援事業				
担当課係名	観光課	観光係	作成者	阿部 聡	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち			総合計画のページ 60
	基本計画	観光産業と他産業の連携強化			
	主要施策	都市と農村の交流の促進			
予算費目	一般会計	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 24 年度		新規/継続の区分		継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス	<input type="checkbox"/> 公共事業	<input type="checkbox"/> 施設維持管理	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 内部管理
根拠法令等	仙北市総合計画				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 直営 (一部民間委託)	<input type="checkbox"/> 民間委託 (全部)	<input type="checkbox"/> 補助	

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市内外から高校生以上の運動部等の合宿を誘致するために
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市内の宿泊施設等に合宿を誘致するため
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	合宿応援事業の事業内容の周知を行う

【事務事業の推移】

		項 目	単位	23年度実績		
効果	活動指標	宿泊者数	目標	人	1,150,000	
			実績	人	541,254	
			達成度	%	47.1%	
	成果指標	教育旅行宿泊者数	目標	人	5,900	
			実績	人	7,371	
			達成度	%	124.9%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)			653		
	人 件 費 (B)		—	4,240		
	職 員 数		—	0.50		
	職員平均人件費		—	8,479		
	(A)+(B) 投下コスト		—	4,893		
	財源内訳	国庫支出金			0	
		県支出金			0	
		地方債			0	
		その他			653	
		一般財源			4,240	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	9		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	164		

【事務事業の今までの成果】

県内はもとより県外からの学校が本市を訪れ合宿を実施している。  
毎年度利用している学校等もある。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	東日本大震災で落ち込んだ誘客を図るため、類似した事業の展開をしている
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	受入宿泊施設の拡充並びに補助対象者の増枠に対して要望が来ている

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
<b>B 3</b>	A 現状のまま継続（実施）	事業を新規で行う段階で、3年のシーリングがかけられていた事業であり、今年度が最終年度であるため、検討をする必要があるため
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

東北管内の高等学校、大学に対して事業内容の周知を図る  
今年度は本市を会場とするスポーツ大会が多く予定されており、宿泊施設等に対して事業内容の周知を図る

【二次評価】

判定	判定に至った理由
<b>B 2</b>	教育旅行による宿泊者数が増加している中、市内スポーツ資源の活用を図るため合宿誘致は必要であると考えます。今後は事業の周知を更に図り、環境整備を視野にいたした検討が求められます。

